

第81回大野市介護保険運営協議会概要

日時：令和7年11月26日（水）午後7時～8時

場所：結とびあ2階 201号室

1. 開会

2. 委嘱状交付

本日から令和9年3月末までの任期

3. 市長あいさつ

4. 会長・副会長の選出

会長 大野市医師会 松田祐一委員

副会長 大野市区長連合会 松田安雄委員

5. 会長あいさつ

6. 議題

(1) 介護保険運営協議会・高齢者福祉計画策定委員会の所掌事務について【資料1】

概要：事務局より資料1に基づき、介護保険運営協議会の目的・所掌事務・委員構成等を説明。

—資料1 質疑なし—

(2) 高齢者福祉計画・介護保険事業計画について【資料2】

概要：事務局より資料2に基づき、第9期計画理念と次期計画策定スケジュール、会議予定の説明。

—資料2 質疑なし—

(3) 介護保険事業の実施状況について【資料3】

概要：事務局より資料3に基づき、介護保険事業の実施状況を説明。

—資料3 質疑応答—

【委員】

- ・高齢者人口や要介護認定者の状況に、県平均や年齢別の要介護認定者数を示してほしい。また団塊世代の後期高齢者化に伴う増加を見据え、今後は年齢別認定者数の推計を計画に反映する必要があると考える。
- ・要介護認定者は増加している一方、物価高などの影響で介護サービス事業者の経営状況は厳しく、将来はサービスの受け皿不足が懸念される。今後の計画策定では事業者の実態を踏まえた検討が必要である。

→【事務局】

明確な分析は計画策定の中で行い、その都度報告したい。また、介護サービス事業所の実態についても調査していきたい。

【委員】

- ・訪問介護・通所介護の実績推移や増減要因について確認したい。

→【事務局】

独居・二人暮らし高齢者の増加、コロナや降雪による影響が考えられるが、第9期の分析については今後しっかりと行っていきたい。

【委員】

- ・訪問入浴介護は事業所1か所、利用者1名と実績が少なく、存続が危ぶまれる状況である。訪問入浴サービスの今後の方向性についてお聞きしたい。

→【事務局】

全利用希望者の受け入れは困難なため、代替可能な場合は通所や訪問介護に切り替えている。必要性の高い方については、市から事業所に補助を行う形でサービスを継続している。

(4) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査及び在宅介護実態調査について【資料4】

概要：事務局より資料4に基づき、次期第10期介護保険事業計画および市認知症施策推進計画について説明。計画策定に向けて実施する介護予防・日常生活圏域ニーズ調査および在宅介護実態調査の内容・方法・実施時期について説明。

—資料4 質疑応答—

【委員】

前回と比べてアンケートの内容はかなり変わっているのか。

→【事務局】

認知症施策の計画を合わせて策定するため、前回よりも追加項目が大幅に増えている。項目数は多くなっているが、別々での計画策定となると市民への負担が大きくなるため、今回は一度に調査を実施する方針である。

【委員】

質問項目数が増えるほど回答率は下がると思うが、前回の回答率はどの程度であったか。

→【事務局】

半数以上の回答があった。

【委員】

質問に運動に関する項目はないのか。

→【事務局】

健康づくりに関する内容については、同時期に策定する「健幸おおの21」のアンケートで実施する予定であるため、今回の調査票には含めていない。

【委員】

この調査はすべてケアマネに依頼して、ケアマネが行うのか。

→【事務局】

日常生活圏域ニーズ調査については郵送で実施する予定である。在宅介護実態調査については、利用者や介護者の直接の声を伺う必要があるため、ケアマネジャーに依頼して実施したいと考えている。

【松田（祐）会長】

ほかにご意見がなければ、この方法で実施ということによろしいか。

→【委員一同】

—異議なし—

7. 報告事項

(1) 介護サービス事業所の指定及び指定更新等について【資料5】

概要：事務局より資料5に基づき、介護サービス事業所の新規指定及び更新状況について説明。

—質疑なし—

8. その他

【事務局】

次回の会議は3月頃を予定している。議題は、本日協議したアンケート調査の結果の報告を中心にと考えている。

9. 閉会あいさつ

●会議資料

第81回大野市介護保険運営協議会次第

委員名簿

資料1：介護保険運営協議会・高齢者福祉計画策定委員会の所掌事務について

資料2：高齢者福祉計画・介護保険事業計画について

資料3：介護保険事業の実施状況について

資料4：介護予防・日常生活圏域ニーズ調査及び在宅介護実態調査について

資料5：介護サービス事業所の指定及び指定更新等について